

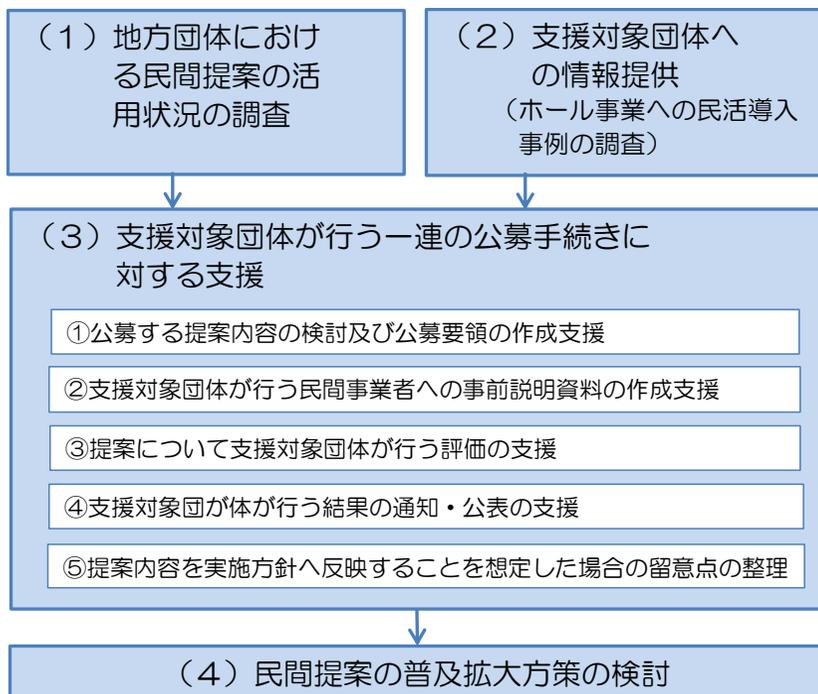
平成30年度苫小牧市におけるPPP/PFI民間提案活用に関する調査検討支援業務

➤ 本業務の背景・目的

- ✓ PFI法第6条に基づく民間提案を活用しようとする支援対象団体に対し支援を行い、そこで得られた知見を他の地方公共団体等に普及展開することでPPP/PFI事業を推進する。

支援対象	苫小牧市	対象事業	(仮称)苫小牧市民ホール整備事業
------	------	------	------------------

➤ 業務全体の流れ



地方公共団体における民間提案の活用状況の調査

➤ 事例の前提と抽出条件の概要

- ✓ PFI法第6条に基づく民間提案の他、サウンディング調査・民間発案を含む「広義の民間提案」について事例を収集。
 - 民間提案の内容が仕様に反映され、提案が優れていた事業者に対してインセンティブが付与されるPPP/PFI事業。
 - 公募型プロポーザル方式で施設整備/改修/公的資産の有効活用等をはかり、公募段階まで進捗している事業。

➤ 抽出事例

✓ 提案インセンティブ付与型

- 民間提案の募集前に具体的な加点割合を決定する方式
 - ①さいたま市*
- 民間提案の募集前に技術点全体に占める加点割合の大枠を設定し、民間提案の募集後、事業者公募段階で評価基準へ反映する方式
 - ②檀原市 ③滋賀県
 - ④睦沢町 ⑤大府市
 - ⑥美浜町 ⑦宇都宮市

✓ 選抜、交渉型

- 市と提案事業者と協議を行い、諸条件が整った場合、提案事業者と契約して事業化するもの
 - ⑧浦添市

*…抽出条件に該当しないが、参考事例として対象とした。

支援団体への情報提供～ホール事業への民活導入事例の調査

調査の概要

✓ 事例調査のねらい

- ホール事業は設置目的によって事業内容に幅がある。施設の貸し出しの他、公演の誘致、市民ワークショップ等の教育普及事業、上演するコンテンツの制作まで行うホールもある。
- こうした施設に対し、性能発注、一括発注、長期契約の特徴を持ち、効率化を目指すPFI方式がなじむのか、PFI等の導入を具体的に検討する際の参考となるポイントを整理する。

✓ 仮説の設定：ホール事業への民活導入の課題

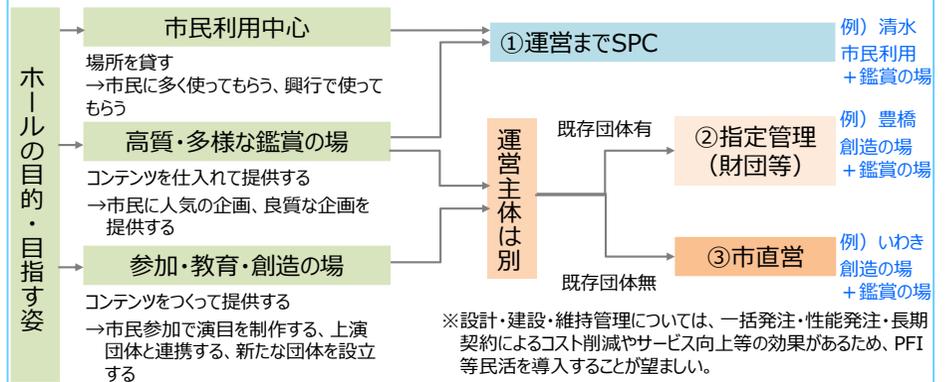
【課題1】 効率性重視になりすぎ、ホール運営に適さないのではないか

【課題2】 独立採算が難しい公共ホールの収支改善の具体策、ポイントは何か

	清水文化会館マリナート	穂の国とよはし芸術劇場PLAT	いわき芸術文化交流館アリオス
開業年	平成24年	平成25年	平成21年
ホール諸室内容・規模	大ホール 1,513席 小ホール 292席 ギャラリー、リハーサル室、練習室等	主ホール 778席 アールスペース 266席 創造活動室、研修室、交流スクエア等	大ホール 1,705席 中劇場 395～687席 小劇場 233席 音楽小ホール 200席 リハーサル室、スタジオ、練習室、稽古場等
延床面積	約11,536㎡	約8,014㎡	27,547㎡
事業手法(運営)	PFI方式 (SPC)	PFI方式 (指定管理者(財団))	PFI方式 (市直営)
PFI事業範囲	設計・整備・維持管理・運営	設計・整備・維持管理 (舞台設備保守)	設計・整備・維持管理 (舞台設備操作・保守)
運営主体の業務範囲	—	舞台設備操作 運営全般	運営全般

ホール事業の特徴

ホールは整備目的により事業の内容、民間事業者に期待するノウハウが大きく異なり、事業手法・運営方法もそれに合わせ設定。



課題への対応

【課題1】への対応 要求水準書、審査基準への反映

- ホールの設置目的に則って、要求水準書や審査基準を設定する。
- 運営主体の意向が反映しやすい施設とすることが稼働率を上昇させ、収支を向上させることから、要求水準書や審査基準に意向を反映する。

【課題2】への対応 収支改善とそのための自由度の確保

- 運営主体が独自に収支改善の工夫ができるよう予約方法や料金の設定に自由度を持たせる。
- 収支改善の結果、運営主体がその恩恵を受けられるスキームとする。

【その他のポイント】 情報共有の仕組みの構築

- 関係者の情報共有のため、月1回程度の会議と日常的に気軽にやり取りができる関係を構築する。

(仮称) 苫小牧市民ホール整備事業に関する民間提案募集

➤ 事業概要

✓ 事業の背景

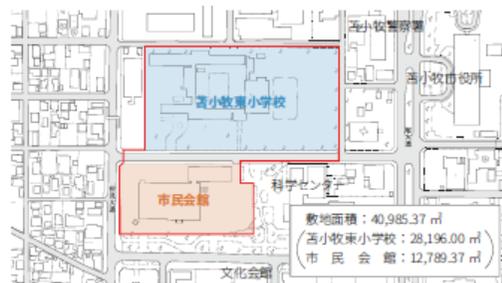
市は、市民ホールの整備に当たり、民間活力の導入を検討している。そして、次の2点に鑑み、事業の枠組みを決め、機能とコストの最善の組み合わせを判断するために、PFI法第6条に基づく民間提案を募集することとした。

- 民間事業者のノウハウや経営資源が施設の施設整備から運営までの様々な面で活用される可能性があること。
- 市民に対する公共サービスの向上や市の財政負担の軽減につながるアイデアを生かす条件を整えることが重要であること。

✓ 施設の概要

- 市民ホールには、市民会館、文化会館、労働福祉センター、交通安全センターの4つ施設を統合する。
- 市内中心部の現苫小牧東小学校敷地を建設予定地とし、駐車場台数等確保のため隣接する現市民会館敷地と一体的な利用を図る。

市民会館 敷地面積：12,789.37㎡ 延床面積：8,909.17㎡ 開館年：1968年(第49年) 収容人数：大ホール 1,630席	文化会館 敷地面積：2,029.65㎡ 延床面積：3,605.15㎡ 開館年：1979年(第38年) 収容人数：ホール 500席
労働福祉センター 敷地面積：3,163.03㎡ 延床面積：1,100.11㎡ 開館年：1976年(第41年) 収容人数：ホール 500席	交通安全センター 敷地面積：317.05㎡ 延床面積：393.18㎡ 開館年：1983年(第34年) 収容人数：2階受講ホール 84席



【出典】苫小牧市「(仮称) 苫小牧市民ホール建設基本計画 概要版」平成30年3月

➤ 民間活力の導入によるより良い施設の実現へ向けて

幅広い民間提案を受け入れるための工夫

- 民間提案に対するインセンティブの設定。
 ⇒民間提案への積極的な参画を求めめるため、インセンティブを設定。
 ⇒手続きの透明性確保のため、提案の公募段階において、事業実施段階の事業者公募の審査への反映方法として、10%を上限に評価することを明示し、公表した。

多様な業種の民間事業者からの提案が受領できる環境整備

- 民間提案の段階で、民間事業者が公募へ向けたコンソーシアムを組成している場合はほとんどない状況であることを踏まえ、多様な提案が受領できる環境を整備
 ⇒質問回答において、「設計、建設、運営及び維持管理を一体的に担う事業範囲を想定しているが、提案に係る事業スキームをすべて含む提案が難しい場合には、当該部分のみの提案も可能。」と回答し、より多くの参画を促している。

➤ 事業スケジュール

- 平成28年 3月 (仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想公表
- 平成30年 3月 (仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画公表
- 平成30年 7月 民間事業者等との「対話」実施
- 平成30年11月 民間事業者等との「対話」実施結果公表
- 平成30年12月 民間提案募集要項公表
- 平成31年 2月 提案書類の締切 (8者応募)
- 平成31年 4月 提案者への通知・公表 (予定)